

やんばる世界遺産だより

第1号

平成28年10月発行
沖縄島北部部会準備会
事務局

やんばる世界遺産だよりを発行します

国頭村、大宜味村、東村を含む「沖縄島北部（やんばる）」は、西表島、奄美大島、徳之島とともに世界自然遺産の推薦候補地になっています。この「やんばる世界遺産だより」では、やんばるの豊かな自然を守り、地域をよりよくしていくための、世界自然遺産に関連した取り組みの状況をお伝えします。

祝！「やんばる国立公園」指定

平成28年9月15日、国頭村、大宜味村、東村にまたがる陸域や海域が「やんばる国立公園」となりました。やんばる国立公園には、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がっています。その森林にはヤンバルクイナやノグチゲラなど、ここにしかない貴重な生き物が数多く生息しています。また、与那覇岳などの雲霧林や、慶佐次に代表的なマングローブ林など様々な自然環境があります。

やんばる国立公園は、「亜熱帯の森やんばるー多様な生命（いのち）育む山と人々の営み」をテーマにしています。多種多様な動植物が生息・生育する生態系を保全し、自然をおそれ敬い豊かな恵みを楽しんできた地域のくらしと文化の維持継承に寄与し、生物多様性と亜熱帯森林生態系を実感できる国立公園を目指します。



© 環境省

やんばるの亜熱帯照葉樹林



© 環境省

塩屋湾のウングミの様子



やんばる国立公園区域図



慶佐次のヒルギ林

世界自然遺産への登録を目指しています

世界遺産は、将来の世代に引き継いでいく人類共通の宝ものです。世界自然遺産に登録されるためには、自然景観、地形・地質、生態系、生物多様性のいずれかにおいて、世界レベルで素晴らしい価値があると認められる必要があります。やんばるを含む4地域は、生態系や生物多様性の基準に当てはまると考えられます。

やんばるの世界自然遺産としての価値

生態系：生き物の進化の過程を示す

世界遺産推薦候補地の4地域を含む琉球諸島は、海水準の変化等によって、大陸や周辺の陸域とつながり離れたりしてきました。その影響により、限られた地域にのみ生き残った種（遺存固有種）が生息・生育しています。このような種として、ケナガネズミやオキナワトゲネズミなどが挙げられます。



写真：環境省

ケナガネズミ

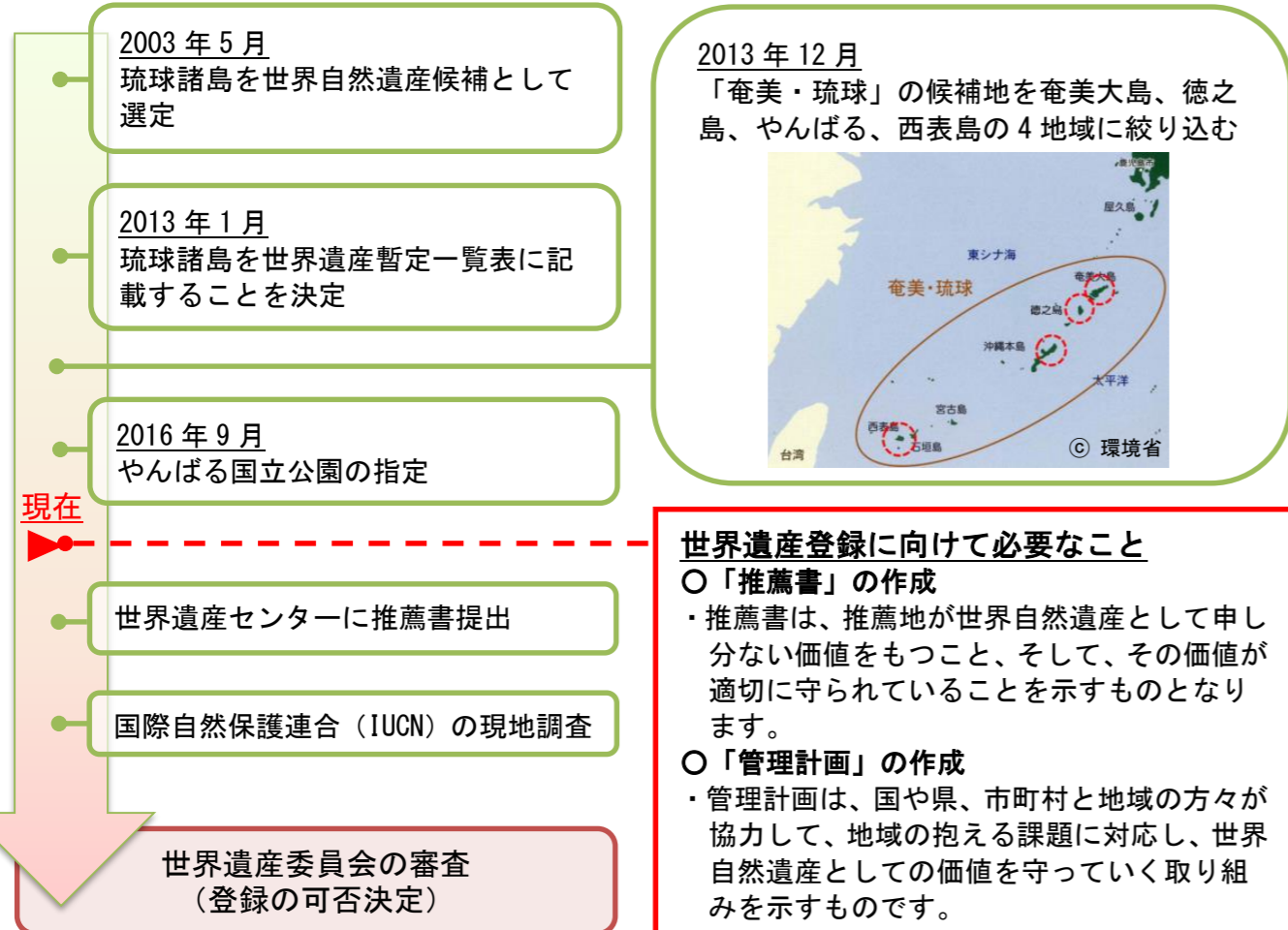
生物多様性：国際的に重要な生き物の生息地

やんばる地域には、ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、イボイモリ、クロイワトカゲモドキ、ヤンバルテナガコガネ、オキナワセッコクなどの国際的に重要な希少種が生息・生育しており、生物多様性の保全上重要な地域と考えられます。



ヤンバルクイナ

世界自然遺産への推薦・登録までの流れ

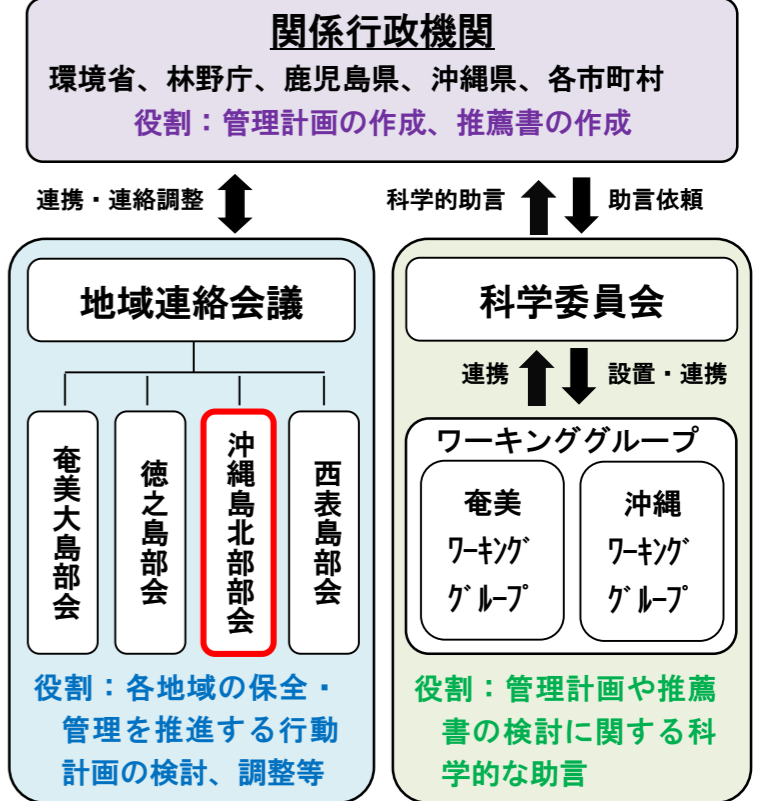


世界自然遺産への推薦・登録に向け、様々な検討を進めています

世界遺産登録に向け、管理計画や推薦書の検討を進めています（検討体制は右図）。世界遺産推薦候補地の4地域では、地域の事情も保全上の課題もそれぞれ異なります。そのため、沖縄島北部（やんばる）部会などの地域部会を各地域に設けて、地域の課題に取り組むための行動計画の検討や調整を進めています。

やんばる地域では、やんばる部会勉強会、やんばる部会準備会として、これまでに合計3回会議を開催しています。地元の様々な団体にもご参加いただきながら、やんばる地域の自然環境の保護や活用のあり方などについて議論しました。議論では、野生生物の保護に関する話題だけでなく、赤土の流出対策やカラスの適正管理など、地域の課題についても話し合われています。このような検討は、世界遺産への登録だけでなく、登録後に地域の自然をしっかりと守っていくためにも重要なことです。

世界自然遺産の管理計画および推薦書の検討体制



<やんばる部会勉強会・準備会における主な意見>

- ・世界遺産や行動計画に関する検討に関して、地域が納得できるように、丁寧に議論、調整を進められるようにしたい。
- ・ケナガネズミ等、文化財の保護にも積極的に取り組みたい。現状の調査だけではなく、調査結果を踏まえた対策を実施していく必要がある。
- ・赤土の流出対策の取組みについても強化すべきである。
- ・野犬の問題が顕在化してきており、早急に対策する必要がある。
- ・不法投棄対策について、パトロールだけでなく、撤去も含めて検討が必要だ。



やんばる部会準備会での検討の様子

<沖縄島北部部会（やんばる部会勉強会、準備会）の参画団体（2016年10月現在）>

- 管理機関：環境省那覇自然環境事務所、林野庁沖縄森林管理署、沖縄県自然保護課、沖縄県森林管理課、沖縄県観光整備課、国頭村世界自然遺産対策室、大宜味村企画観光課、東村企画観光課
- 地元団体：国頭村森林組合、国頭村商工会、JAおきなわ国頭支店、国頭村森林ツーリズムWG、大宜味村区長会、大宜味村商工会、NPO 法人 やんばる舎、NPO 法人 おおぎみまるごとツーリズム協会、大宜味村農業委員会、東村商工会、JAおきなわ東支店、東村農業委員会、東村区長会、NPO 法人 東村観光推進協議会
- 関連NPO・研究機関：NPO 法人 どうぶつたちの病院沖縄、琉球大学農学部与那フィールド

世界自然遺産事情！①

日本には、世界自然遺産が4つあります。縄文杉が有名な屋久島やブナ林が魅力的な白神山地、流水で知られる知床や固有種の宝庫である小笠原諸島があります。世界文化遺産は日本には16物件あるので、文化遺産に比べると自然遺産が少ないことが分かりますね。全世界では、自然遺産には203物件、文化遺産には814物件が登録されています（10月現在）。



日本で既に登録されている世界自然遺産

やんばる地域が世界自然遺産になると何が変わるの？

やんばる地域が世界自然遺産に登録されると、次のような変化が起こることが予想されます。良い変化もたくさんありますが、心配になってしまう変化もあります。良い変化を活かし、心配な変化の影響を小さくする取り組みが必要と考えられます。

良い変化	心配な変化
<ul style="list-style-type: none"> ○やんばるの知名度、イメージが向上します。 ○やんばるの農林水産物や特産品のブランド力が高まります。 ○観光客が増加し、やんばるの農産物やお土産の物販、エコツアーや宿泊施設の人気が高まります。 ○世界自然遺産の仕組みにより、自然環境保全の体制が強化されます。 ○世界自然遺産の管理を行うため、行政間が連携した取り組みが進みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客が増加して、自然環境が劣化する可能性があります（ゴミの増加、植物の踏みつけ、希少種の採取・盗掘など）。 ●世界遺産が着目されることで、開発圧力が增大してしまう可能性があります。
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>適切な利用ルールを設定し、観光客の増加や開発圧力にも対応できる体制をつくり、関係機関や地域が連携することにより、適切な対応を実施していきます。</p> </div>

世界自然遺産への推薦にむけた「沖縄島北部部会」開催のご案内

やんばる地域の世界自然遺産への推薦に向けて、地元の代表者による会議を継続的に開催しています。次回の沖縄島北部（やんばる）部会は11月7日（月）に公開で開催される予定です。地域の皆さんも聞くことができますので、ぜひ傍聴にいらしてください。

日時	平成28年11月7日（月）15:00～17:30
場所	国頭村立保健センターホール
申込	不要（直接会場にお越しください）
参加費	無料

お問い合わせ先

沖縄県自然保護課 TEL:098-866-2243

国頭村世界自然遺産対策室 TEL:0980-41-2101

大宜味村企画観光課 TEL:0980-44-3007

東村企画観光課 TEL:0980-43-2265